

今週の News

1. 新しい「支部規定」: 地域での活動の活性化に向けて
2. 静岡支部 9月のまち歩きツアーの案内
3. 広島支部の設立／広島・竹原での防災まち歩き報告
4. 全まち 2022 in 東京・すみだの主なセッション紹介2
5. 地域主体のまちづくり出前講座 東広島市報告

■新しい「支部規定」: 地域での活動の活性化に向けて

JSURPでは現在新しい支部規定の制定を検討しています。現在、支部は北海道(札幌市)、神奈川(横浜市)、静岡(静岡市)、福岡(福岡市)の4支部であり、主として道府県エリアを活動範囲としています。

高まる地域レベルでのまちづくり志向に対して各地に居住・活動するJSURP会員がより密接に、よりスピーディに対応していくことが可能な「地域の時代にフィットした支部」の構築を目指します。そうした動きの一つが、8月に発足した広島支部です。

支部規定の制定は、支部の設立要件や体制・活動内容、本部支援等を明示し、支部設立をやすくしていきます。特に、従来は支部活動エリアとして都道府県やさらに広いエリア(北海、東北、関西、九州等)を想定し一定数の会員がいるエリアが想定されてきました。しかし、今回の支部規定検討ではむしろ従来の支部領域よりマイクロな範囲でより地域に密着していく地域活動ユニットとして支部を立ち上げることをテーマとしています。

新しい支部規定は現在、会長を始め四役と地域活動部会が協働で素案を作成中であり、次回理事会に諮る予定です。

■静岡支部 9月のまち歩きツアーの案内

9月17日(土)、静岡市の蒲原宿でまち歩きツアーを実施します。案内人に木下勇先生(大妻女子大学)、大澤康生氏(BACKPACKERS HOSTEL 燕之宿)をお招きします。

参加希望がありましたら、ご連絡ください。

- ・日 時: 令和4年9月17日(土)
- ・集 合: 木下邸(JR 東海道線 新蒲原駅徒歩10分程度)
- ・プログラム

13:00~13:10 プログラム説明・自己紹介

13:10~14:45

①木下邸見学・説明

②木下先生のお話

③大澤さんからのお話

14:45~16:30 まち歩き(燕之宿の見学含む)

17:00~ 懇親会「鮎処やましち」を予定

・参加者: 15人程度

・会 費: 会員無料/非会員1,000円

懇親会は実費

・申し込み

静岡支部長 海野(yoshi.unno@mckn.jp)

■広島支部の設立／広島・竹原での防災まち歩き報告

2022年8月25日の理事会にて日本都市計画家協会広島支部が設立となりました。また支部設立に先立ち、広島県竹原市で防災まち歩きが行われました。

【広島支部の設立】

支部長 木村静(理事)、事務局長 田嶋麻美(賛助会員)、幹事 三谷繭子(理事)の三役にて発足しました。まちづくりに関心を持つ方や、まちづくりに関わる方が増えるよう活動を行います。

【開催レポート広島・竹原での防災まち歩き】

8/20(土)、日本都市計画家協会後援、NPO法人ひろしまジン大学主催で「ひろしまジンとりっぷ ～竹原編～古い町並み・酒蔵訪問・プチ防災の旅」を開催しました。



案内人は、竹原のまちづくり会社 株式会社いいね竹原の福本博之さん。塩と酒で潤った江戸時代、2018年と2021年の水害、昨年に法整備された流域治水関連法を受けて進める流域治水などのレクチャー後、国選定重要伝統的建造物群保存地区を歩き、江戸時代から続く藤井酒造さんへ。5代目蔵元の藤井善文さんにも、水害とお酒のお話を聞きました。次回は11/3(金・祝)に呉市天応地区で、2018年の西日本豪雨の被災地に根づき始めたコミュニティ訪問をします。



■全まち 2022 in 東京・すみだの主なセッション紹介2

220901号に続き全まち 2022 in 東京・すみだの主要なセッションを紹介します。

★大学のあるまちづくりとUDCすみだの未来ビジョン

●趣旨:区が目指す「大学のあるまちづくり」のプラットフォーム「UDCすみだ」の役割を区民に紹介するとともに、区民のアイデアをまちづくりに活かす仕組みを議論する。

●プログラム

司会:鈴木弘樹(千葉大学、UDC すみだ副センター長)

趣旨説明:上野武(UDC すみだセンター長)

第1部:UDCすみだへの期待(60分)

紙田和代:キラキラ橋商店街/有蘭悦克:co-lab 墨田亀沢/吉岡大司:曳舟小学校長/岐部靖文:墨田区企画経営室

第2部:パネルトーク「すみだの未来」

パネリストと会場参加者からのコメント

まとめ:安森亮雄(千葉大学)

★これからのまちづくりファンD

●趣旨:土地建物の寄付を活かしたまちづくりを推進するため、地元の金融機関などと連携した非営利財団や公益財団の存在が注目を集めている。このセッションでは京島地区のまちづくりに係る財団づくりの事例を通して、これからのまちづくりファンDのあり方を考える。

●プログラム

第1部:基調講演

後藤大輝:八島花文化財団

岸本幸子:パブリックリソース財団

第2部:パネルトーク(60分)

田村誠邦/後藤大輝/岸本幸子/紙田和代

★新しい計画システム「プランニングフレーム」の提案

●趣旨:日本の政策風土に適合した新たな「プランニングフレーム」について、プランナー、研究者、行政(国土交通省)の立場での意見交換をする

●プログラム

- 1.プランニングフレームワークのイメージについて
- 2.近年の様々なプランニング及び事業展開事例
- 3.ディスカッション

村山頭人(JSURP/東京大学)/菊池雅彦(国土交通省大臣官房技術審議官)/渡邊浩司(前国土交通省大臣官房技術審議官)/長谷川隆三(JSURP/フロントヤード)/高鍋剛(JSURP/都市環境研究所)

★復興で時代を先取りする

●趣旨:JSURP 首都直下地震・復興グランドデザイン研究会と災害復興まちづくり支援機構との共同研究体による「50年後を見据えた東京の復興ビジョン」を考えるセッション

●プログラム

第1部:復興ビジョンを考える視点:加藤孝明(東京大学)

第2部:フィッシュボール(金魚鉢)セッション

<論点:時代を先取りする復興を進めるためには>

・主催者側メンバー+会場参加者によるリレーセッション

★市民から始まる雨とみどりのマイクロインフラ

●趣旨:区におけるこれまでの取り組みを評価し、雨と緑化を組み合わせて生活に潤いを与える新しいインフラの取り組みが始まっている。このセッションでは、市民から始まり、受け継がれるまちのマイクロインフラと、すみだの未来像について考える。

●プログラム

第1部:プレゼンテーション/すみだの雨水活用の取り組み/(仮)コミュニティが取り組むインフラ:水と防災の視点から/雨水市民の会と「下町×雨・みどりプロジェクト」

第2部:意見交換

佐原 滋元(向島学会、一言会、雨水市民の会)/鹿島田和宏(墨田区役所環境担当部長)/他 1-2名

コーディネーター:笹川 みちる(雨水市民の会)

★ものづくり・まちづくりセッション

●趣旨:「すみだ」を特徴づける「ものづくり」と「まちづくり」の相関・連携を紐解き、今後の「暮らしと産業が身近に接する街」、「多世代が継続して暮らせるものづくりコミュニティ」形成の可能性を探る。

●プログラム

第1部:報告

- 1)すみだの産業形成 150年の特徴、課題
- 2)すみだを特徴付ける産業創出の政策
- 3)すみだを特徴付ける産業創出の可能性:
- 4)町工場の世代と再生

第2部:ディスカッション

野原卓(横浜国大)/安森亮雄(千葉大学)/瀬戸正徳(墨田区産業振興課)/伊藤清武(JSURP)/久保 亨(JSURP)/千葉葉子(JSURP)/渡会清治(JSURP)

■地域主体のまちづくり出前講座/東広島市西条地区報告

地域主体のまちづくり講座の一環として、東広島市西条駅周辺地区における「ウォークアブルなまちづくり・公共空間の活用」をテーマにした全3回の講座が終了しました。

講座では、地域の酒蔵、飲食店経営者、宿泊業、商業者、広島大学の学生等と3回のワークショップを重ねてきました。その結果、西条駅周辺(酒蔵エリア、飲み屋街、ブルーパール、市役所周辺)のウォークアブルネットワーク、まちづくりの施策、エリアプラットフォームの案等をつくることができました。参加者の方からは「本音で話し合いたい」という意見があり、市役所やコンサルタントの皆さんも同じテーブルにつき、積極的な意見交換ができました。

参加者からは、「まちづくりの方向性が考えられた」、「いろいろなアイデアをもらった」、「対話のきっかけができた」などの感想・反応をいただきました。

JSURPとしても、広島支部が設立されたこともあり、今後も引き続き関わることができたらと思っています。

■9月の主な予定

- ①9月17日(土) 静岡支部まち歩きツアー
- ②9月21日(水) これからのまちづくり研究会
- ③9月28日(水) 第204理事会